

令和7年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

第2回アカギヒメヨコバイ防除検討会の開催

8月4日（月）

7月17日にプレスリリースされたアカギヒメヨコバイによるアカギ被害について、本課職員で行ったアカギ分布調査及び被害状況調査結果を踏まえ、関係者間で防除方針を定めるため第2回アカギヒメヨコバイ防除検討会を行った。

アカギ分布調査及び被害状況調査結果報告では、大野山林及び狩俣地区にアカギ造林地があり、島内で最もアカギ資源が充実していること、被害が市街地のみに残まっていることが確認された。これら報告より、防除エリアを区分し、優先度をつけて防除する方針が決定した。

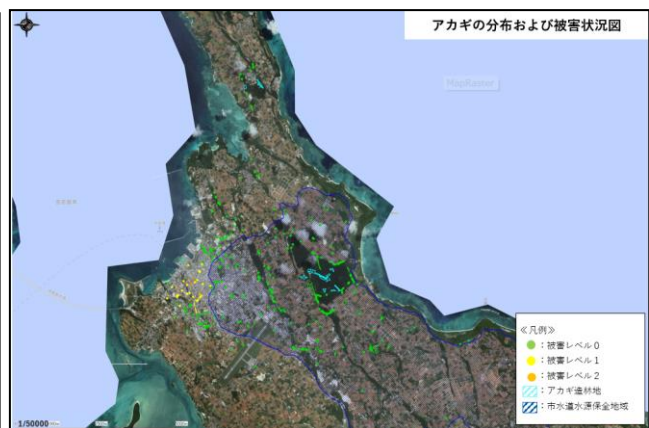
但し、被害のほとんどが私有地内のアカギであり、防除は基本的に「管理者が行う」ことを踏まえ、県や市が率先してその管理地の防除を行い、私有地での防除のきっかけとなるよう防除周知にも取り組んでいくこととなった。

今後、当センターでは環境部とも協力し、防除講習会を開催する予定である。さらに、土木建築部や教育庁所管内に被害が発生していることから、防除の呼びかけを行うなど防除を進めていくこととしている。

今後も引き続き、宮古島内での被害状況に注視し、関係機関と協力して、被害蔓延防止に努めていきたい。



▲検討会の様子



▲アカギ分布及び被害状況調査結果

(報告者：宮古農林水産振興センター 玉城、仲宗根)